

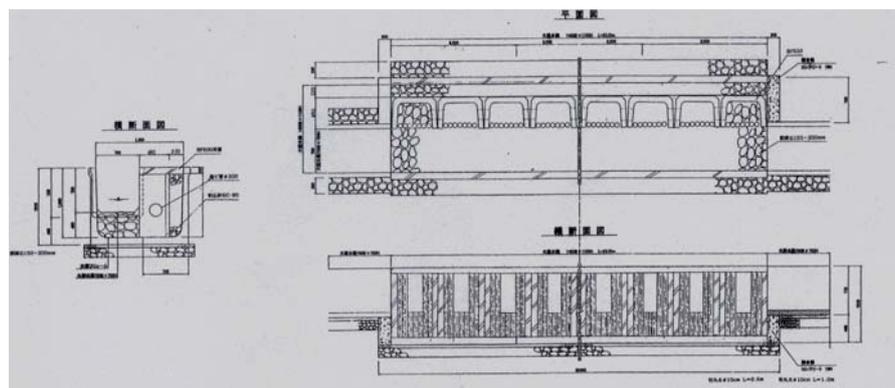
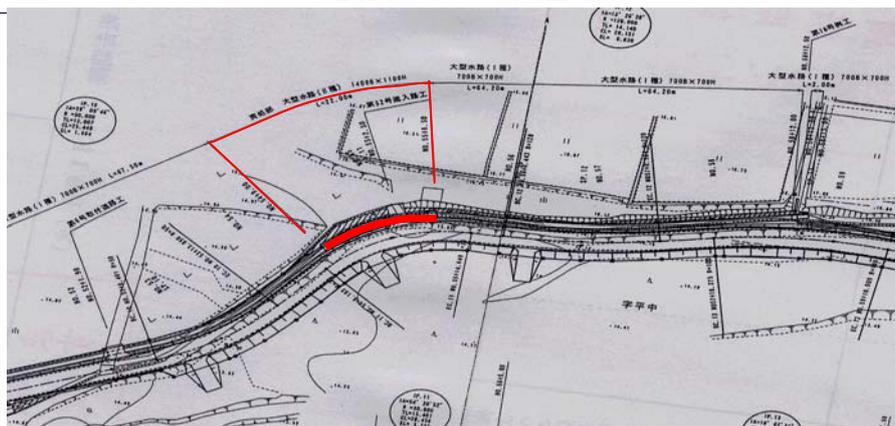
環境配慮工事データベース

作成(更新)年月日

平成19年1月29日

事業名	ふるさと農道緊急整備事業	地区名	小倉平	市町村名	むつ市		
工種	農道工						
配慮事項区分	多様な生息・生育空間の確保	施工年度	H17～H19				
農業地域類型	山間農業	地形勾配	1/500				
事業による影響	水路のコンクリート化による魚類の消滅						
配慮施設に対する 保全対象生物の 選定及び選定理由	ドジョウ	現地で生息を確認。					
	ヤマメ	"					
保全対象生物の生活史等から見た配慮事項							
配慮施設の構造等 を検討する際に留意 した事項	・魚類の生息場所の確保。						
配慮施設の位置を 決定する際に留意 した事項	・残地を有効利用できる位置とした。						
環境配慮5原則区分	最小						
配慮施設の構造		施設の設計条件等					
施設名称	ワンド	用水期間	代掻き期	5/10～5/19			
箇所数 延長	N=1箇所 L=20m		普通期	5/20～9/5			
			非灌漑期	9/6～5/9			
主要構造	三面張	配慮施設の非灌漑期の 水の有無、確保状況		有			
		水深(cm)		流速(m/s)		流量(m ³ /s)	
		1.用水路		1.用水路		1.用水路	
		代掻き期		代掻き期		代掻き期	
		普通期		普通期		普通期	
		非灌漑期		非灌漑期		非灌漑期	
		2.排水路		2.排水路		2.排水路	
1/3流量	0.535	1/3流量	1.278	1/3流量	0.459		
護岸	コンクリート	1/10流量	***	1/10流量	***	1/10流量	***
		非灌漑期	***	非灌漑期	***	非灌漑期	***
施設底	自然石	水路勾配	1/400		護岸勾配 土羽勾配		
		施設諸元	ワンド N=1箇所 L=22.5m				
二次製品 使用有無	有						

施設平面図及び構造図



施設写真



写真説明

環境配慮施設の設計条件等の決定根拠・参考文献						
施設の構造・規模の決定根拠等					参考文献(引用、出典)	
・ワンドの位置は残地の有効利用できる場所とした。 ・魚の生息場所が確保できる構造とした。					***	
モニタリング						
区分	調査有無	調査の種類	時期	回数	調査方法	施設の状況
施工前	無					
施工中	無					
施工後	無					
工事中 の一時的 避難	避難有無	避難対象生物				
	無					
モニタリング 結果概要	施工前	***				
	施工中	***				
	施工後	***				
モニタリング結果 からの評価		***				

営農を考慮した工法の検討		
営農上の課題、農家の意見・要望	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
***	***	***
維持管理を考慮した工法の検討		
維持管理上の課題	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
通常の水路部分に比べ、ワンド部は側壁に突起があるため、上流から流れてくる草・ゴミ等が引っかかりやすい可能性がある。		
留意点	底部に土砂及び自然石を敷き、なるべく施工前の環境を復元するように留意した。	
工夫点	ワンド部の目隠しに間伐材を利用した。	
環境配慮施設の今後の維持管理方法		
留意点		
環境配慮施設の工事費 (諸経費を含む)	ワンド N=1箇所 L=22.5m 1,320千円(58千円)	
実施設計担当者職氏名	主査 工藤 正明	
工事実施担当者職氏名	主査 工藤 正明	
施工後モニタリング担当者職氏名		
データベース作成(更新)者職氏名	主査 工藤 正明	

モニタリング結果資料

その他特記事項